



教育について考えよう

子どもたちの「生きる力」を育むためには、学校だけではなく家庭や地域の教育力の向上が求められています。地域全体で協力し、教育活動を充実させましょう。



地域や学校の教育活動を知り、考える取り組みに参加しよう

保護者や地域の方が学校づくりに広く参加できるよう、さまざまな取り組みを行っています。

地域ぐるみで子どもを支援

学校支援活動の推進

学校と地域をつなぐ調整役(地域コーディネーター)が、学校の要望に応じ、多様な知識や経験を持つ地域の方々に学校支援ボランティアとして紹介し、学習活動やクラブ活動への支援、登下校時の安全確保、校内の環境整備などの活動を進めている地域もあります。

三次市立吉舎中学校区では

「現在の中学生の様子や先生方の苦労が分かり、貴重な体験ができました」(地域の方)

平成20年度から、ボランティア活動で地域とのつながりを深める取り組みを進めています。主な活動として、教職員や保護者、地域住民と一緒に図書室を整備したり、吉舎中学校の生徒が近隣の小学校で図書ボランティアとして絵本の読み語りを行ったりしています。

図書室の整備の様子

このように学校の教育活動や学校運営を支援するさまざまな機会がありますので、各学校でお配りする「お知らせ」などをよくご覧になり、ぜひご参加ください。

開かれた学校運営のために

学校評議員制度

学校評議員とは、教育に関する識見を有する方の中から校長の推薦を受け、教育委員会が委嘱する方です。いただいた意見や助言を学校運営に反映させるとともに、学校行事に参加していただくことなどにより、地域に開かれた学校づくりを進めるための仕組みです。

このような意見が活用されました!

小学校

意見 給食の献立について、彩りや栄養バランスがよく考えられているがさらに工夫してもらいたい。

成果 学校評議員の来校時に試食会を行い、ご意見をいただき、地産地消の考え方を取り入れた給食の献立になるよう工夫しています。

特別支援学校

意見 学校が公民館や郵便局を活用して、学校の情報発信を行ってほしい。

成果 郵便局で児童生徒の作品展示を行い、地域に向けて情報発信することができました。

実際に学校評議員の意見を取り入れて、学校運営に生かした事例がたくさんあります。学校評議員について興味がおありの方は、お近くの学校へお尋ねください。

皆さんの考えを教えてください!

広島県教育モニター制度

広島県教育モニター制度は、教育に対するご意見やニーズなどを伺い、今後の教育施策に反映させることを目的としています。登録いただいたモニターの方には、年3回の教育行政に関連したアンケートにお答えいただき、集計結果を県教育委員会HPでご紹介しています。保護者の方には、「学校推薦」または「公募」でご登録いただくことができます。この制度を活用して、皆さんのお考えを教えてください。

学校推薦	公募
公立学校から保護者等の学校関係者を1名推薦いただき、教育モニターとして登録いただけます。	広島県教育委員会のホームページから登録します。多くの保護者の方にご登録いただきたいと思います。

いずれも今年度の登録は終了しています。来年度のご登録・ご協力をお願いします。

●お問い合わせ/秘書広報室 ☎082(513)4937

親の思いを語り合おう

語り合う「場」を提供し、家庭教育を応援しています。

子育ては親育ち! 皆さんも体験してみませんか?

「親の力」をまなびあう学習プログラムとは

親子関係や家族関係などをより豊かなものにしていくきっかけづくりのために、身近なエピソードを題材にした、参加型の学習プログラムです。

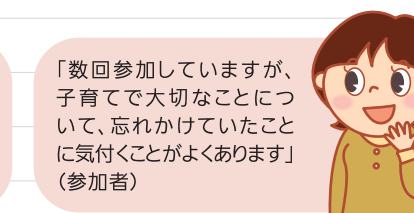
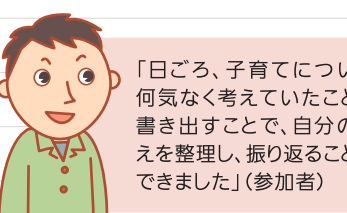
学習プログラムの流れ



1 打ち解ける
簡単なゲームを通じてリラックスした雰囲気。

2 話し合う
教材に自分の思いを記入し、グループで話し合います。

3 気付く
話し合いの内容について振り返ります。



「日ごろ、子育てについて何気なく考えていたことを書き出すことで、自分の考えを整理し、振り返ることができました」(参加者)

「数回参加していますが、子育てで大切なことについて、忘れていたことに気付くことがよくあります」(参加者)

子育ての段階に応じて、24のプログラムがあります。

学習プログラムの1例です

吹き出しに子どもの気持ちを想像して書いたり、親の対応について考えたりして、意見を出し合います。このプログラムに「正解」はありません。大切なことは積極的な話し合いや共感を深めること、そして出会いをきっかけに皆さんのネットワークができることです。



学級懇談会やPTA研修会などで講座を実施しませんか?

ファシリテーター(講師)が行役となり、参加者同士が楽しく話し合い、学び合います。
●講座の実施をお考えの場合は、各市町の家庭教育担当課または広島県立生涯学習センターにご相談ください。
※具体的なプログラムの内容や、派遣するファシリテーターの調整等を行います。
※学習プログラムは、広島県立生涯学習センターのホームページ「ばれっとひろしま」で紹介しています。
ご不明な点は、広島県立生涯学習センター(☎082(248)8848)にお気軽にご相談ください。

現在、このような取り組みが進行中です!

食習慣の大切さを学ぼう!

学校や地域における食育の推進

子どもたちが「食」に関する理解を深め、日常生活で健全な食生活を実践できるようご家庭での食育に役立つ情報をお届けしています。

尾道市立吉和小学校では

7月に「親子料理教室」を開催しました。メニューには学校菜園でとれた野菜を使い、調理の前には、尾道の産物や食事バランスを学習。親子のコミュニケーションを図り、親と子の双方が正しい食事のあり方を認識できるよい機会となりました。



「日ごろは苦手な食べない食材を食べる姿を見ることができ、うれしく思いました」(保護者)

「親子料理教室」でのお弁当作りの様子

NEW! 地域全体で子どもの心を育む

心の元気を育てる地域支援事業

同じ中学校区内の小・中学校が家庭や地域と一体となった体験活動を行うことで、児童・生徒の自尊感情を高め、社会参画への意欲や態度など豊かな心を育んでいます。

三原市の本郷中学校区では

地域推進協議会の企画のもと、6月には本郷中・船木小・本郷小・北方小・南方小の子ども計約800人と、保護者、地域の方々が「町内一斉清掃」を実施しました。



町内一斉清掃の様子

「どの子も一生懸命に手際よく掃除をしていました。終わった後の子どもたちは満足そうで、一緒にやったかがありました」(地域の方)

地域や産業に貢献できる人材を育成

高校生の「起業家精神」育成事業

高校生に自立心や創造力、またチャレンジ精神など起業家精神を育成するため、ビジネスプランの作成などさまざまな起業活動を実践しています。

神石高原町の県立油木高校では

産業ビジネス科が、廃校のプールを利用して「ナマスプロジェクト」に取り組んでいます。6月にナマスの稚魚約2,000匹を放流し、2年後には成魚を販売に結びつけることを目指しています。将来的には、耕作放棄地も活用するなど地域おこしにつなげていきます。



ナマス(稚魚)の放流

「花咲く神石高原町・ミツバチの里夢プラン」で「観光甲子園グランプリ」を受賞しました。

NEW! 国際交流や留学を支援

県立学校 海外交流推進事業

グローバル社会で活躍できる人材の育成を目的として、姉妹校提携や留学生派遣の支援を行っています。事業の第一号として、9月に県立高陽高校がハワイ州カラニ高校と提携を結びました。



姉妹校提携調印式の様子

NEW! 自立と社会参加へ向けて

特別支援学校技能検定

生徒の就職意欲向上や企業などへの雇用促進につながるために、技能検定を実施します。

【期日】 清掃技能検定 12月10日(土) 11日(日)
接客技能検定 12月17日(土)

【会場】 広島大学(東広島市鏡山1-1-1)
【対象】 知的障害特別支援学校高等部生徒

●お問い合わせ/特別支援教育課 ☎082(513)4982

第10回 頑張る学校訪問記

安芸高田市立可愛小学校

平成22年度広島県教育奨励賞受賞

授業改善や家庭・地域との連携で学力向上を

安芸高田市立可愛小学校は、平成20~22年度に、国立教育政策研究所の指定校となり、全学年を対象に算数科の研究と授業改善を進めてきました。平成22年度には、学力向上の取り組み成果が認められ、広島県教育奨励賞を受賞しました。

また、吉田中学校区の小・中学校が連携し、生徒指導や家庭における自主学習にも取り組んでいます。さらに、家庭教育や子育てに関する懇談の場として「子育てサロン」を実施するなど、家庭・学校・地域が連携した「協育」を推進しています。

「協育」の取り組み

- 家庭学習のすすめ (学年+1)×10分を目安に自主学習を指導。中学校のテスト週間に合わせて、小学校4~6年生に「自主学習強化週間」を実施。
- 毎週月曜日は「ノーゲームデー」 平成22年度から毎週月曜日を「ノーゲームデー」に設定。今年度はさらに、この日に何をするか自分自身で計画を立てて過ごすことを指導。

▶ 広島県教育委員会ホームページ「ホットライン教育ひろしま」に、ホームページ版と過去の「頑張る学校訪問記」を掲載しています。

やりがい 第14回

子どもたちの可能性を信じて



竹原市立竹原小学校 教諭 渡辺 住味子さん

平成20年度と23年度は小学校6年生を担任し、竹原の製塩の歴史を題材にした同校伝統の音楽劇「竹原塩物語」の指導に取り組んでいます。

6年生が取り組んでいる音楽劇「竹原塩物語」について教えてください。

平成13年度から毎年継承している音楽劇で、竹原の伝統産業であった塩田の製塩作業の様子を表現しています。子どもたちはこの活動を通して、一層、郷土への誇りと愛着を持つようになります。今年度は「みんなで作ろう ひろしま自慢」発表大会で地域の方以外にも広く見ていただける機会をいただきましたが、児童それぞれの良さや可能性を發揮できる場になりたいと考えています。

どんなときにやりがいを感じますか?

「竹原塩物語」の練習で、子どもたちは「精一杯がんばりたい」「先輩たちに負けない劇にしたい」という思いを持っています。このような、子どもたちが頑張っている姿に触れられることが、私のやりがいです。また卒業生から、「竹原塩物語」をきっかけに、いろいろなことにチャレンジするようになったと聞いたときも、大きな喜びを感じました。



「竹原塩物語」は毎年、保護者や地域からも好評を得ています

「みんなで作ろう ひろしま自慢」発表大会

- 11月12日(土)13時 千代田開発センター(北広島町)
- 11月19日(土)13時 黒潮文化センター(東広島市)、尾道市公会堂(尾道市)

地域の宝を探し継承・発展させる取り組みを発表します。